

【背景・課題】

圧倒的な自然環境を有する国立・国定公園内での魅力的な自然体験等のコンテンツは、訪日外国人の旅行消費額や延べ宿泊者数の増加に向けて大きなポテンシャルを有しているが、これまでの整備・展開は十分ではない面もあった。また、各国立・国定公園をブランディングし、地域のテーマやストーリーを踏まえたコンテンツをより効果的に提供するためには、既存コンテンツ等の状況も踏まえた計画づくりと情報の一元的な提供等の地域一体となった受入れ体制の整備等が必要である。これを進めるため、R4年度に施行を予定している自然公園法による自然体験活動促進計画の策定と計画に基づくコンテンツの創出準備を強力に支援していく必要がある。また、サステナブルツーリズムの要素をより充実していく必要がある。

【事業内容】

①地域一体となった効果的なコンテンツ提供のための計画策定等

地域協議会等における地域内の複数コンテンツを効果的に提供するための受入れ体制の整備や地域のテーマやストーリーを踏まえたコンテンツの統一的なブランディング等に係る自然体験活動促進計画等の計画策定等。

②地域一体となった効果的なコンテンツ提供体制の整備

①の検討に基づく、ビジターセンター等における情報提供、感染症防止対策、体験フィールドの環境整備、自然情報の収集と事業者への提供、多言語対応等の人材育成、二次交通の構築等。

【事業スキーム】 直轄・補助

【効果】 効果的なコンテンツの提供推進による、訪日外国人観光客の宿泊数の増加や消費額の増加。コンテンツの高付加価値化。

【事業イメージ】

効果的なコンテンツ提供の検討・コンテンツ提供体制の整備



各コンテンツの効果的な提供による副次的効果

- ・ 一元的な情報提供や二次交通の改善等でコンテンツ間をつなぐことによる更なる滞在時間や満足度向上
- ・ 地域で統一的な自然、歴史、文化の解説等によるブランディング など

個々の滞在型コンテンツの造成イメージ



グランピング



地場産品



ナイトタイム



野生動物観光